

授業科目名 (英文名)	簿記論Ⅰ (国際商経・専門科目)	科目区分 対象学生	専門教育科目 国際商経学部
単位数	2単位	開講年次・学期	2年次・前期
担当教員	沼智博	所属	非常勤講師
オフィス・場所	授業前15分 教室 授業後10分 教室前	連絡先	tomohiro.numa@mail.o-hara.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p><b>【講義目的】</b> 簿記とは、企業活動を帳簿に記録することにより、企業の経営成績や財政状態を明らかにするものです。簿記を学習することで、企業の状況を把握することができるばかりか、数字で物事を考える力がつき、就職後に大変役立つ知識です。</p> <p>ビジネスマン必須の知識である簿記を習得していく授業です。</p> <p>一般企業に就職してから役立つことはもちろんのこと、公認会計士・税理士受験のための基礎知識にもなります。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>① 一般企業が行う取引や処理方法の基礎から応用まで理解する。 ② 財務諸表作成までの一連の流れを理解する。 ③ 連結会計の基礎について理解する。</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>【講義内容】</b> 本講義は、購入したテキストと授業内で配付する補助プリントを使用し進めていきます。必ず購入して参加するようにして下さい。</p> <p><b>【講義内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 有価証券①</li> <li>3. 有価証券②、割引現在価値</li> <li>4. 有価証券③</li> <li>5. デリバティブ取引①</li> <li>6. デリバティブ取引②</li> <li>7. 有形固定資産</li> <li>8. リース会計①</li> <li>9. リース会計②</li> <li>10. リース会計③</li> <li>11. ソフトウェア</li> <li>12. 減損会計①</li> <li>13. 減損会計②</li> <li>14. 外貨建取引①</li> <li>15. 外貨建取引②</li> </ol> <p>※学生の理解度により変更する可能性があります。</p>		
テキスト	<p>「ALFA1級課程 商業簿記・会計学Ⅰ」(テキスト・ドリル・アンサー)大原簿記学校 「ALFA1級課程 商業簿記・会計学Ⅱ」(テキスト・ドリル・アンサー)大原簿記学校 簿記Ⅰの教材として計6冊がパッケージしてある教材を購入してください。 後期簿記Ⅱにおいても同じ教材を使用します。</p>		
参考文献	なし		
成績評価の基準・方法	<p><b>【成績評価の基準】</b> 講義目的を理解した上で、以下の成績評価の方法を基準として到達目標に最低限以上に達したと判断できる者に対して単位を授与します。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 定期試験70%、提出課題等30%で評価します。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>・日商簿記検定3級に合格していること ・毎回電卓を使用するので持参すること。 ・本講義の内容は、3級の学習を終えている方を対象とした講義です。一つひとつをしっかりと理解しながら学習を進めて下さい。 もしわからないところが出てきたら、その都度質問して解消していくようにして下さい。</p>		
実践的教育	該当しない。		
備考	簿記を学習することにより、一般企業がどのような活動を行っているかを理解することができ、将来就職した後に大変役立ちます。皆さんにとって、少しでも有用な講義を提供できるよう工夫して参ります。一緒にがんばっていきましょう。		

	※本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓生から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金にもとづいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。
教員コメント	